

3 共創プログラム

パートナー企業とIoTユースケースを共創する Things Partner™ プログラム

NTTコミュニケーションズ（以下、NTT Com）は経験とノウハウを有するIoTの活用領域（for Place/for Maintenance/for Logistics）を中心に、Things Partner™ プログラムを通じてパートナー企業とのユースケース共創を図る。共創したユースケースをフルスタックのIoTソリューションとしてお客さまに提供しながら、エコシステム構築を推進していく。

Things Partner™ プログラムとは

最近のトレンドとして、AIやデータアナリティクス、DX（デジタルトランスフォーメーション）などの華々しいワードを目にする機会が多くなった。これらは「既に何かしらのデータをもっている」お客さまが、「データをどう扱うか」の検討に入っているフェーズの話だ。その前段として重要かつ課題となるのが「活用するためのデータをどのようにして取得・収集するか」であり、その一翼を担うのが「IoT」となる。

しかし、データを収集するにも業

種業態によりさまざまなパターンが存在し、かつ、センサーデバイス/IoT-GWとIoTプラットフォームとの接続の難しさや、デバイス等の現場設置作業の煩雑さなどがある。

そこで、NTT Comはこれらの課題を解決するために、Things Partner™ プログラム（以下、本プログラム）を2019年4月に立ち上げた。本プログラムは、NTT Comが経験とノウハウを有するIoTの活用領域（for Place/for Maintenance/for Logistics）を中心に、IoTプラットフォーム「Things Cloud®」と連携するIoTセンサーデバイス/IoT-GWを扱うデバイスパートナー



NTTコミュニケーションズ株式会社
経営企画部 IoT推進室

【左から】担当課長 鈴木 与一氏
主査 有沢 大輔氏

とユースケースを共創するプログラムとなる。

本プログラムは、2つのグレード（Ready/Connected）を設けており、前者は「Things Cloud®」と接続確認済みのデバイス群となり、後者は独自の強みを持ったパートナー企業との新たなIoTユースケース共創を互いに目指し、フルスタックのIoTソリューション提供や確固たるエコシステム構築を推進していく。

今後の展望

本プログラムは、まず「Things Cloud®」との連携から開始し、今後はセンサーデバイス/IoT-GWに対応するeSIMやセキュリティなどの商材も対象として拡大することで、データ取得・収集などのデバイス/ネットワーク領域におけるお客さま課題解決に貢献していきたい。

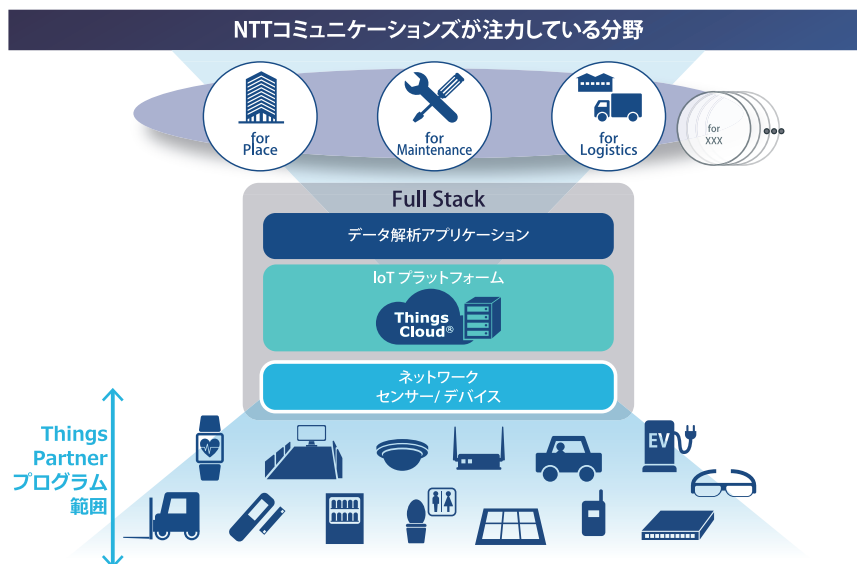


図1 Things Partner™ プログラム概要